



フューチャーズ24情報・マンスリーレポート 2018年2月号

◆2月の商品相場見通し

●金相場＝「適温」相場変調によるリスクオフとなれば、上値を伸ばす展開に

米株式市場は好景気と低金利が共存する「適温」状況に支えられてきたが、今後発表される米経済統計や米FRB高官の発言でインフレ警戒感が強まれば、適温相場変調への警戒で投資家のリスクオフの動きが広がり、安全資産としての需要拡大につながるだろう。そうなれば、NY金は2016年7月に付けた同年の最高値1377.50ドルを突破し、上値を伸ばす展開になることが予想される。

●白金相場＝目先は値固めを試す展開に

米利上げペースの加速観測を背景に、NYダウ工業株30種平均が5日に暴落した後に買い戻される荒い値動きとなったことが市場の警戒感を強め、上下共に動き難い環境となっているが基調は強く、目先は値固めを試す展開が見込まれる。

●原油相場＝下値を模索する展開に

OPEC主導の協調減産や北朝鮮をめぐる地政学的リスクなどといった強材料は依然健在ではある上に、6日のNYダウが反動高となったことに注意を払う必要はあるが、米国での供給過剰感が再燃しつつある状況を考慮すると、2月のNY原油は下値を模索する展開になると予想。

●穀物相場＝大豆は昨年末の安値を窺う動き、コーンは1月安値を維持へ

シカゴ大豆は下値を探る動きが予想され、昨年12月28日の安値を窺うとみている。

シカゴコーンは、360セント台では利益確定売りが誘われ易くなるとみている。ただ、アルゼンチンの天候が下値を支え、1月12日を割り込む公算は小さいだろう。

◆2月中旬～3月上旬の重要イベント

●2月12日（月）

- ・トランプ米政権、議会に2019会計年度の予算教書を提出

●2月14日（水）

- ・1月の米消費者物価指数、1月の米小売売上高

●2月21日（水）

- ・米連邦公開市場委員会（FOMC）議事要旨（1月30～31日）

●2月28日（水）

- ・パウエル米FRB議長が議会証言

●3月8日（木）

- ・欧州中央銀行（ECB）定例理事会

●3月9日（金）

- ・日銀政策委員会・金融政策決定会合
- ・2月の米雇用統計



◆原油相場概況（1月）

●NY原油＝概ね右肩上がりの相場展開

1月前半は、昨年12月11日から操業を停止していた英北海のフォーティーズ・パイプラインの運営会社が全面的な稼働再開を発表したことや、米国でのシェールオイル増産見通しを弱材料視する向きからの売りに押される場面もあったが、一般的には石油輸出機構（OPEC）主導の協調減産への取り組みが相場を支える中、イランでの反政府デモやサウジアラビアでの一部王子の拘束などを受けた中東情勢の緊迫化による原油供給への不安も強材料視されて値を伸ばす格好。記録的寒波により米原油在庫の減少傾向が続いたことにも支援され、一時は2014年12月以来の高値圏まで上昇した。

1月後半は、買い過剰感の高まりなどから利益確定の売りが入ったほか、原油価格上昇に伴い米国の増産への懸念が改めて意識されたことで伸び悩む場面もあったが、その後は国際通貨基金（IMF）による堅調な世界成長見通しやOPEC主導の協調減産の継続期待を背景に再び買いが先行。24日に米原油在庫が10週連続で減少したことも強材料視され、同日の取引では14年12月8日以来となる65ドルの節目乗せを達成。翌25日には66.66ドルの高値を付けた。

ただ、買いが一巡するとトランプ米大統領が「強いドルを望んでいる」と発言し、これを受けてドルが対ユーロで上昇したことからドル建て原油の割高感が生じたほか、米国内の石油リグ（掘削装置）稼働数が大幅増となったことを弱材料視する向きからの売りも入る格好。連日最高値を更新していたNYダウ平均が米長期金利の上昇などを背景に急落したことも相場を圧迫し、再び65ドルの節目を割り込んだ。

◆原油相場展望

●NY原油＝下値を模索する展開に

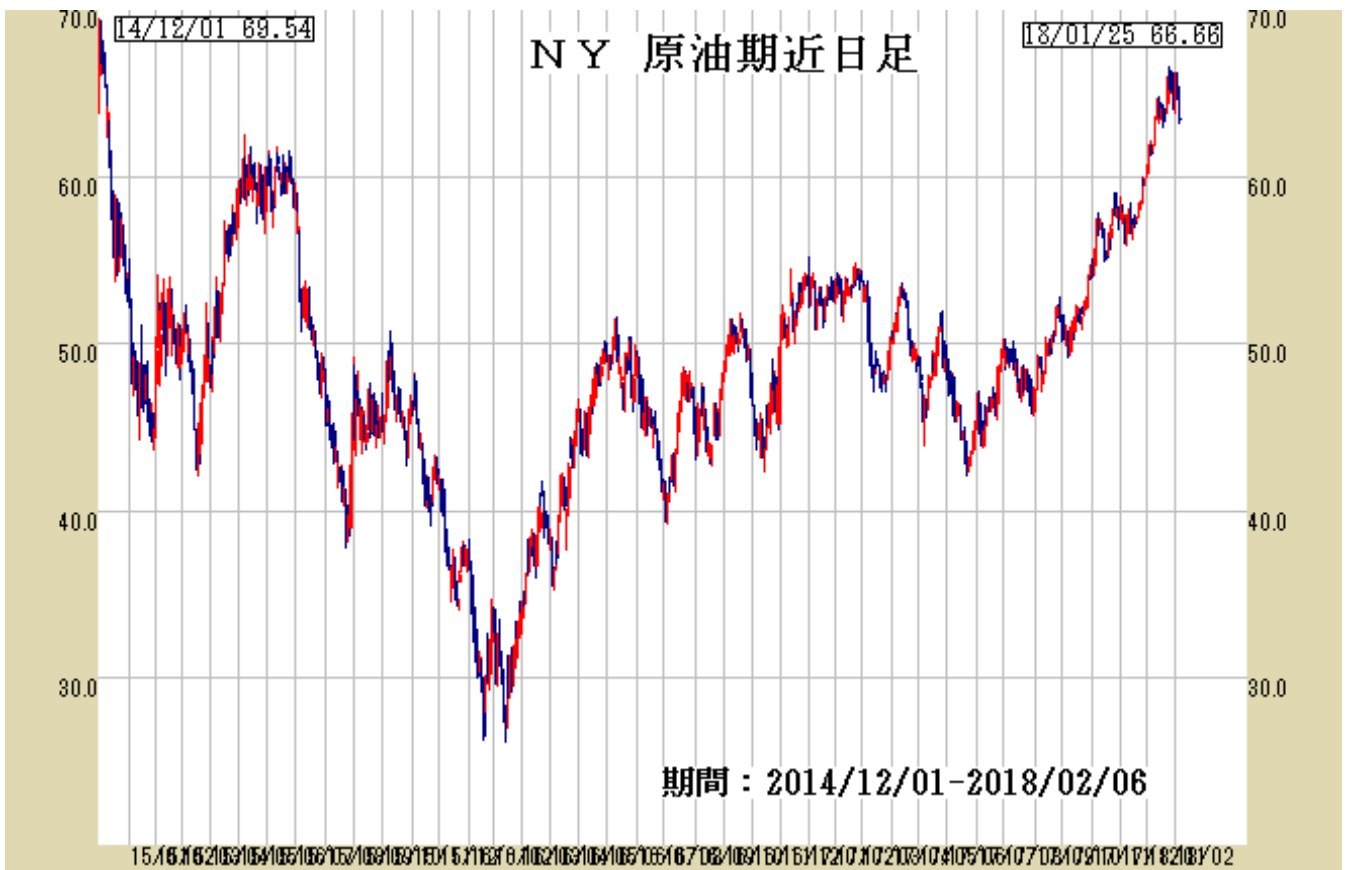
2月に入ってからのNY原油市場は、1月のOPEC加盟国の減産順守率が前月から上昇したことが好感されて値を伸ばす場面もあったが、その後は1月米雇用統計が良好だったことで対ユーロでのドル高が進み、ドル建て原油の割高感が生じたことに圧迫されたほか、米利上げペース加速への懸念などを受けて米株価が急落したことも下げ足を強める要因となり、63ドル台まで水準を落としている。

OPEC主導の協調減産の効果が出始め、これを受けて需給均衡への期待感が高まったことが原油相場を支え続けてきたものの、ここに来て米国での増産見通しなどを背景とした供給過剰感が改めて意識される格好。これがOPEC主導の協調減産の効果を打ち消すとの見方につながっている。

米エネルギー情報局（EIA）が1月31日に公表した月報によると、2017年11月の国内原油生産は日量1000万バレルを超え、過去最高水準近くに達したという。また、米石油サービス会社ベーカー・ヒューズが毎週金曜日に発表している石油リグ（掘削装置）稼働数は、最新の2月2日発表分で765基と前週比6基増。昨年8月以来の高水準となった。原油価格の上昇が続いていたことから稼働数は今後も増加基調になると見込まれており、供給過剰感を強める要因となる可能性がある。

加えて、これまで最高値を更新し続けていたNYダウ平均株価が調整安局面となりつつあることも原油相場を圧迫。NYダウはトランプ米政権の税制改革への期待感などから買われ続け、1月26日には2万6616.71ドルまで上昇。しかしその後は、米長期金利の上昇を嫌気する向きからの売りが入ったほか、良好な米雇用統計を受けて利上げペースが加速するとの懸念が生じ、売りの流れが一気に加速。2月5日の取引では一時前日比で1500ドル超の下落幅を記録する暴落を演じた。

OPEC主導の協調減産や北朝鮮をめぐる地政学的リスクなどといった強材料は依然健在ではある上に、6日のNYダウが反動高となったことに注意を払う必要はあるが、米国での供給過剰感が再燃しつつある状況を考慮すると、2月のNY原油は下値を模索する展開になると予想。まずは1月19日安値62.85ドルを試し、仮にこれを割り込んだ場合は同月8日安値61.34ドルが次の下値目標となる。



◆原油需給動向

●1月のOPEC産油量は増加も、減産順守率は上昇＝ロイター調査

1月31日にロイター通信が公表した調査結果によると、1月の石油輸出国機構（OPEC）加盟国の産油量は日量3240万バレルと、昨年12月から同10万バレル増加した。ベネズエラの減産を、ナイジェリアとサウジアラビアの増産が相殺した格好。

一方、1月のOPEC加盟国の協調減産順守率は138%と、昨年12月（137%）から上昇した。原油相場は2014年以来の高値を付けたが、こうした中でも参加国の協調は緩むことなく維持されていることが明らかになった。OPECは非加盟国との協調減産合意で、年末まで枠内の産油量を日量約120万バレル削減することになっている。

●輸出能力拡大もOPEC減産合意は順守＝イラク石油相

イラクのルアイビ石油相は1月29日、英王立国際問題研究所で開かれた会合で、イラクは南部と北部からの原油輸出拡大を図っているものの、OPECの減産合意は順守する方針を明らかにした。ルアイビ石油相によると、同国の原油輸出能力はほぼ日量500万バレルに達しており、このうち南部が460万バレルを占める。

ルアイビ石油相は「イラクは常に、誠意をもってOPECの減産合意を順守する考えを明確にしてきた」と述べた。同相はまた、北部キルクーク油田の生産については、英石油大手BPの協力で2倍以上に拡大する意向も明らかにした。

●ロシア石油生産、16年10月比で日量30万1200バレル減少＝エネルギー相

ロシアのノバク・エネルギー相は2月2日、1月の同国石油生産はOPECと非加盟産油国の減産合意で基準とした2016年10月時点と比較して、日量30万1200バレル減少したと明らかにした。ノバク氏は、OPECと協調減産で公約した通り、減産義務を完全に履行していると述べた。

●米原油生産、10～12月に日量1100万バレル突破＝EIA短期見通し

米エネルギー情報局（EIA）は2月6日公表の月次の短期エネルギー見通しで、米原油生産量が2018年10～12月に日量平均1104万バレルに達するとの予想を明らかにした。前月の見通しでは19年10～12月に1100万バレルを突破すると見込んでいた。

過去数カ月で国内産油量は安定的に増えており、1～3月の平均産油量は1024万バレルと予想されている。

18年の生産予想は前年比126万バレル増の日量1059万バレルに引き上げた。前月には97万バレル増の1027万バレルと見込んでいた。

●昨年11月の米原油生産は1970年以来の1000万バレル超え＝EIA

米エネルギー情報局（EIA）は1月31日に公表した月報で、2017年11月の国内原油生産は1970年以來初めて日量1000万バレルを超え、過去最高水準近くに達したと明らかにした。

17年11月の産油量は前月比38万4000バレル増の1003万8000バレルだった。これは1970年11月に記録した過去最高の1004万4000バレルを若干下回る水準。生産が増えた主因は、ノースダコタ、テキサス両州とメキシコ湾岸でのシェール石油増産。

●パーミアン盆地でのシェール増産計画を発表、25年までに3倍に＝米エクソン

米石油大手エクソンモービルは1月30日、テキサス州西部とニューメキシコ州東部にまたがるパーミアン盆地からのシェールオイル・ガス生産を2025年までに3倍の日量60万バレル超に拡大する計画を表明した。

20億ドルを投じ現地の原油貯蔵ターミナルも拡張する。エクソンは2017年、国内最大の油層であるパーミアン盆地での権益を60億ドル超で取得し操業面積を2倍にした。以降、急速に開発を進めている。

同社のウッズ最高経営責任者（CEO）は、税制改革による法人税引き下げを受け、今後5年で国内投資に500億ドルを向けると表明した。パーミアン盆地の拡張もその一環。エクソンは、パーミアン盆地の操業面積に合わせ、稼働リグ（掘削装置）を現在の約24基から65%増やす方針だという。

●米シェール生産者の理性的対応、原油価格を下支え＝シェルCEO

英・オランダ系石油大手ロイヤル・ダッチ・シェルのバンブールデンCEOは2月1日記者会見し、米国のシェール生産者は記録的水準の生産を追求するのをやめ、採算性を重視してきていると語り、この「理性的な対応」が原油価格の下支えにつながっているとの見方を示した。

同席したウール最高財務責任者（CFO）は、シェールの米国、カナダ、アルゼンチンのシェール資産の生産量は、今後5～10年で現在の日量27万5000バレルから倍増する可能性があるとして述べた。

●1～3月の製油所稼働率は最大91.5%＝米バレロ生産計画

米製油大手バレロ・エナジーは2月1日公表した生産計画で、2018年1～3月の同社製油所（14カ所、製油能力は日量計300万バレル）の稼働率が最大91.5%になるとの見通しを示した。米メキシコ湾沿岸部、中西部、西海岸、大西洋地域の製油所で生産水準が低下。メキシコ湾沿岸部の七つの製油所の稼働率は90～93%になるという。

バレロの投資家向け広報担当幹部はこの日のアナリストとの電話会議で、昨年8月のハリケーン「ハービー」で被害を受けたメキシコ湾沿岸部の製油所の復旧工事に1700万ドルを費やしたと明らかにした。

●中国、17年の原油輸入量は4億トン突破＝対外依存度、68%

1月29日付の中国紙、国際商報によると、2017年の中国の原油輸入量は前年比10.1%増の4億1957万トンと、初めて4億トンを突破した。原油の対外依存度は68%に達した。原油輸入額は42.7%増の1兆1002億8571万元。

アナリストによると、ここ数年、民間企業などを対象にした原油の輸入・利用規制の緩和が輸入量を押し上げているという。中国の原油輸入量は09年に2億トン、14年に3億トンを突破。原油の対外依存度は15年に60%、16年に65%を突破した。

調査会社、中宇資訊が発表した17年1～11月の統計によると、中国の原油輸入先は46カ国・地域に上り、上位10カ国からの輸入量は3億0800万トンと、全体（3億8600万トン）の約8割を占めた。輸入先の首位はロシアで、シェアは約14%。サウジアラビア、アンゴラが約12%で続いた。

●北朝鮮への石油供給停止は「宣戦布告」行為＝駐北ロシア大使

マツェゴラ駐北朝鮮ロシア大使は、北朝鮮への石油・石油製品の供給を縮小すべきではないと述べ、完全停止すれば北側は「宣戦布告」と捉えると付け加えた。1月31日付のロシア通信（RIA）が報じた。

国連安保理と米国は、北朝鮮の核兵器開発に歯止めをかけるべく、原油・石油製品の供給を制限するなど一連の制裁措置を続けている。マツェゴラ大使はRIAとのインタビューで「北への供給をこれ以上減らすことは出来ない」と語った。

同大使は、国連は北向けに中国から年間54万トン前後の原油供給、ロシア、中国などから同60万トン超の石油製品供給を許可していると話し「人口2500万人の北朝鮮にとって、これらは微量に過ぎない」と指摘した。

さらに「石油不足は深刻な人道的問題につながる」と指摘。「平壤にいる政府関係者は、北側は供給停止を宣戦布告と捉えると明言している」と述べた。北朝鮮は先週、制裁措置をめぐり国連を非難。また、ロシアのモルグロフ外務次官は、国連が決めた制裁措置に同調する義務はないと発言している。

●対ベネズエラ石油禁輸を示唆＝米国務長官

中南米歴訪中のティラーソン米国務長官は2月4日、独裁体制を固めるベネズエラのマドゥロ政権に圧力をかけるため、同国への石油禁輸措置に踏み切る可能性を改めて示唆した。米政府はすでに野党弾圧などを理由に、マドゥロ氏や閣僚らに対し米国内の資産凍結などの制裁を科している。

ティラーソン氏はアルゼンチンのブエノスアイレスでフォリー外相と会談した後に記者会見し「ベネズエラ産石油の米国内での販売禁止、ベネズエラへの石油供給禁止などの制裁は検討し続けるべきだ」と強調。ただ、物資不足に苦しむベネズエラ国民への影響を慎重に見極める考えを示した。

同氏はまた、禁輸措置による米業界への影響を分析していると述べた。トムソン・ロイターの調べによると、2017年の米国向けベネズエラ産原油輸出は米国の経済制裁が打撃となり、1991年以来の低水準になった。

ベネズエラは南米随一の産油国でOPECにも加盟しているが、2013年のチャベス前大統領死去後に後を継いだマドゥロ政権は、原油価格下落の直撃を受け経済崩壊を招いた。こうした中、反マドゥロ派の激しい抗議デモは力で抑え込んできた。

同国の最高機関である制憲議会は1月23日、19年1月の任期満了に伴う大統領選挙の投票を今年4月末までに実施することを決定。選挙は当初、年末に行われるとみられていたが大きく前倒しを図った。野党の態勢が整わないうちに政権の延命をもくろむが、思惑通り2期目を勝ち取っても、このままではひたすら原油価格の回復を待つ苦しい政権運営が予想される。

◆2018年1月の価格データ

* 東京金は夜間取引を含んだ価格。* NY金は中心限月。

日	東京金		2018.12月限		NY金		2018.2月限		ドル建て金現物			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
2					1305.30	1320.40	1304.60	1316.10	1302.49	1318.92	1302.45	1318.09
3					1319.00	1323.00	1308.90	1318.50	1318.09	1321.33	1307.09	1312.76
4	4684	4737	4679	4730	1315.50	1327.30	1307.10	1321.60	1312.46	1325.86	1305.61	1322.90
5	4729	4789	4726	4780	1324.40	1324.70	1314.60	1322.30	1323.10	1323.43	1313.41	1319.81
8					1321.80	1323.00	1315.70	1320.40	1319.95	1322.13	1314.88	1320.49
9	4780	4793	4754	4763	1321.20	1321.40	1309.50	1313.70	1320.55	1320.60	1308.71	1312.58
10	4762	4763	4709	4714	1313.30	1328.60	1308.90	1319.30	1312.89	1326.56	1307.90	1316.81
11	4700	4736	4695	4725	1317.50	1324.70	1316.10	1322.50	1316.81	1323.90	1315.41	1322.34
12	4727	4748	4710	4741	1323.60	1340.00	1320.80	1334.90	1322.75	1339.34	1321.10	1338.34
15	4744	4771	4730	4771					1336.56	1344.44	1335.65	1339.66
16	4768	4774	4745	4765	1337.30	1345.00	1332.10	1337.10	1339.99	1342.28	1331.66	1338.54
17	4757	4758	4727	4741	1339.00	1344.50	1326.60	1339.20	1338.21	1343.91	1326.65	1327.65
18	4738	4754	4729	4739	1327.40	1333.30	1324.30	1327.20	1327.66	1333.05	1323.70	1327.10
19	4732	4749	4722	4736	1327.00	1338.20	1326.60	1333.10	1327.11	1337.98	1326.08	1331.41
22	4732	4744	4727	4734	1334.00	1335.80	1328.00	1331.90	1334.47	1335.63	1328.31	1333.70
23	4729	4755	4727	4747	1333.00	1341.50	1330.70	1336.70	1334.07	1341.84	1331.15	1341.01
24	4756	4759	4720	4731	1341.40	1361.60	1339.10	1356.30	1341.38	1361.81	1339.20	1358.09
25	4737	4768	4728	4762	1357.00	1365.40	1341.00	1362.90	1358.08	1366.07	1342.70	1347.65
26	4760	4761	4725	4743	1346.40	1356.00	1343.70	1352.10	1347.97	1357.01	1344.00	1349.76
29	4741	4743	4702	4708	1349.00	1351.40	1336.10	1340.30	1349.68	1352.27	1337.36	1339.96
30	4711	4713	4653	4655	1338.70	1347.80	1332.80	1335.40	1340.29	1348.73	1334.10	1338.16
31	4657	4694	4655	4682	1337.50	1346.90	1331.80	1339.00	1338.47	1347.53	1332.30	1344.70

* 東京白金は夜間取引を含んだ価格。* NY白金は中心限月。

日	東京白金		2018.12月限		NY白金		2018.4月限		ドル建て白金現物			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
2					936.40	950.50	934.50	947.80	928.50	944.60	925.50	943.60
3					949.00	965.90	943.50	962.30	943.70	960.70	934.00	956.40
4	3367	3449	3362	3427	961.40	971.50	949.10	970.20	956.30	965.40	940.00	959.74
5	3426	3494	3425	3486	968.80	975.50	963.70	975.20	963.00	970.00	954.00	969.40
8					971.20	979.20	971.10	976.40	967.00	973.60	960.50	972.40
9	3490	3523	3479	3486	977.00	977.00	964.40	972.30	972.40	972.50	955.50	965.40
10	3494	3499	3442	3450	971.80	979.20	962.30	978.80	965.40	974.00	953.00	971.00
11	3444	3494	3431	3478	976.20	991.10	973.50	990.80	970.80	985.10	965.50	984.10
12	3486	3534	3483	3530	989.60	1004.20	987.60	996.20	984.20	998.50	979.00	993.40
15	3533	3563	3503	3548					991.00	1001.40	982.50	996.00
16	3550	3553	3527	3536	999.70	1006.20	990.00	1004.90	993.00	999.60	980.50	998.20
17	3528	3563	3496	3540	1004.20	1012.90	1002.20	1010.90	998.20	1007.60	993.00	996.74
18	3542	3568	3541	3555	1003.50	1012.30	1001.00	1007.20	999.70	1007.10	992.00	1000.40
19	3551	3575	3550	3564	1005.90	1020.90	1003.70	1020.10	1000.40	1015.20	995.24	1013.00
22	3570	3604	3568	3603	1018.60	1023.90	994.80	996.80	1010.50	1018.80	987.50	995.00
23	3600	3618	3531	3539	1001.00	1013.30	993.50	1007.80	996.00	1007.10	985.49	1006.30
24	3547	3560	3504	3546	1012.50	1028.00	1009.10	1015.80	1006.00	1021.20	1000.74	1011.99
25	3547	3584	3537	3575	1020.50	1033.30	1011.30	1032.10	1015.20	1027.60	1003.74	1010.50
26	3563	3579	3544	3554	1019.20	1026.30	1012.80	1018.40	1014.20	1021.10	1006.99	1009.50
29	3556	3572	3510	3526	1016.40	1017.40	1005.20	1012.70	1009.00	1013.00	997.74	1003.50
30	3527	3531	3476	3478	1010.60	1012.60	995.20	1001.80	1002.74	1007.60	987.49	996.00
31	3470	3505	3457	3500	1000.60	1010.50	999.00	1004.30	996.10	1005.60	988.00	1000.00

* 東京原油は夜間取引を含んだ価格。 * NY原油は中心限月。

日	東京原油		2018.6月限		NY原油		2018.2月限 23日から3月限		ドル・円			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
2					60.20	60.74	60.10	60.37	112.65	112.78	112.05	112.25
3					60.39	61.97	60.28	61.63	112.26	112.60	112.17	112.45
4	44730	44960	44730	44950	61.96	62.21	61.59	62.01	112.45	112.86	112.42	112.72
5	44920	44990	44610	44960	61.90	62.04	61.09	61.44	112.72	113.29	112.68	113.12
8					61.61	61.97	61.34	61.73	113.06	113.38	112.88	113.10
9	44830	45260	44570	45000	61.92	63.48	61.80	62.96	113.05	113.17	112.36	112.62
10	45030	45730	44720	45500	63.41	63.67	63.09	63.57	112.59	112.78	111.28	111.31
11	45370	45420	44920	45220	63.50	64.77	63.43	63.80	111.36	111.87	111.03	111.21
12	45260	45480	44820	44830	63.57	64.50	63.06	64.30	111.20	111.68	110.91	111.02
15	44860	45290	44460	45290					111.07	111.17	110.32	110.47
16	45210	45510	44940	45480	64.43	64.89	63.39	63.73	110.48	110.97	110.24	110.34
17	45320	45380	44650	44970	63.89	64.17	63.31	63.97	110.38	111.24	110.16	111.17
18	45020	45540	44570	45260	64.07	64.35	63.47	63.95	111.13	111.48	110.70	111.08
19	45280	45290	44500	44600	63.74	63.77	62.85	63.37	111.05	111.12	110.49	110.72
22	44510	44880	44360	44760	63.61	64.14	63.17	63.49	110.56	111.21	110.50	110.97
23	44730	45180	44520	45120	63.88	64.88	63.70	64.47	110.96	111.17	110.25	110.32
24	45190	45330	44780	44980	64.42	66.05	64.34	65.61	110.30	110.33	108.96	109.13
25	44950	45280	44360	45000	65.88	66.66	65.08	65.51	109.13	109.70	108.49	109.23
26	44980	45170	44700	44770	65.25	66.35	64.91	66.14	109.26	109.76	108.28	108.75
29	44750	44990	44600	44800	66.18	66.46	64.98	65.56	108.62	109.19	108.50	108.93
30	44800	44850	43800	43800	65.53	65.56	63.89	64.50	108.94	109.20	108.41	108.84
31	43880	44110	43290	43470	64.03	64.94	63.67	64.73	108.84	109.44	108.59	109.15

* シカゴ穀物は中心限月。

日	シカゴ大豆		2018.3月限		シカゴ・コーン		2018.3月限		ユーロ・ドル			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
2	967.50	970.00	958.75	964.75	351.25	354.00	350.50	353.25	1.1995	1.2080	1.1995	1.2058
3	965.75	970.00	963.50	968.75	353.00	354.75	352.25	353.00	1.2059	1.2066	1.2002	1.2019
4	968.50	969.00	959.25	967.75	353.00	353.50	350.25	351.00	1.2011	1.2088	1.2002	1.2066
5	968.00	977.00	967.50	970.75	350.75	352.25	350.25	351.25	1.2068	1.2081	1.2020	1.2041
8	969.75	971.50	960.50	966.75	350.75	351.50	346.75	347.25	1.2024	1.2052	1.1955	1.1963
9	966.75	968.50	961.00	963.75	347.50	350.00	347.25	349.00	1.1966	1.1975	1.1915	1.1933
10	962.75	963.50	951.75	955.00	348.75	350.00	348.00	349.00	1.1936	1.2016	1.1922	1.1959
11	954.00	957.50	949.00	950.00	349.00	350.50	348.00	348.75	1.1956	1.2058	1.1929	1.2029
12	948.25	962.75	944.50	960.50	348.75	350.00	345.50	346.25	1.2031	1.2184	1.2027	1.2181
15									1.2194	1.2296	1.2186	1.2272
16	965.00	970.00	963.25	968.00	347.25	349.25	346.00	348.25	1.2268	1.2283	1.2195	1.2266
17	966.25	969.25	961.25	968.75	348.50	353.25	348.25	353.00	1.2266	1.2322	1.2196	1.2213
18	968.75	974.75	966.50	973.00	352.50	354.00	350.50	351.50	1.2212	1.2264	1.2165	1.2231
19	972.50	982.75	972.00	977.25	351.50	354.00	351.25	352.50	1.2238	1.2295	1.2218	1.2227
22	980.50	987.25	980.00	984.25	353.50	354.50	351.25	352.00	1.2269	1.2274	1.2214	1.2256
23	983.00	988.75	979.50	986.25	351.75	352.00	349.50	351.25	1.2258	1.2306	1.2222	1.2294
24	985.75	994.75	980.25	992.25	351.25	357.00	349.75	356.50	1.2293	1.2414	1.2291	1.2398
25	992.00	1002.00	987.00	992.25	356.00	358.00	354.50	355.25	1.2398	1.2535	1.2364	1.2408
26	990.25	995.50	983.75	985.50	355.00	357.00	354.50	356.50	1.2406	1.2493	1.2368	1.2406
28	992.25	998.75	986.25	991.50	356.75	359.25	356.75	358.75	1.2423	1.2432	1.2336	1.2383
29	994.50	1004.75	988.25	1000.25	359.50	362.25	359.00	361.50	1.2381	1.2453	1.2336	1.2397
30	1000.00	1002.00	989.00	995.75	361.50	362.00	359.50	361.50	1.2395	1.2474	1.2386	1.2415

* 東京一般大豆、東京とうもろこしは夜間取引を含んだ価格。

日	東京一般大豆		2018.12月限		NYダウ工業株30種平均			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
2					24809.35	24864.19	24741.70	24824.01
3					24850.45	24941.92	24825.55	24922.68
4	46620	47200	46620	46890	24964.86	25105.96	24963.27	25075.13
5	46900	47200	46900	47200	25114.92	25299.79	25112.01	25295.87
8					25308.40	25311.99	25235.41	25283.00
9	47200	47210	47000	47000	25312.05	25439.78	25308.41	25385.80
10	47000	47060	46910	47040	25348.13	25404.92	25256.99	25369.13
11	46900	47290	46600	46620	25398.60	25575.42	25396.19	25574.73
12	46650	46700	46620	46620	25638.39	25810.43	25633.08	25803.19
15	46630	47160	46630	46660				
16	46800	46930	46670	46930	25987.62	26086.12	25702.99	25792.86
17	46900	46900	46400	46400	25910.78	26130.45	25865.02	26115.65
18	46500	46510	46400	46470	26149.55	26153.42	25947.32	26017.81
19	46470	46590	46130	46550	25987.35	26071.72	25942.83	26071.72
22	46380	46790	46290	46790	26025.32	26215.23	25974.65	26214.60
23	46790	46790	46500	46550	26214.87	26246.19	26143.90	26210.81
24	46550	46620	46410	46410	26282.07	26392.80	26106.94	26252.12
25	46410	46410	46410	46410	26313.06	26458.25	26259.72	26392.79
26	46410	46410	46410	46410	26466.74	26616.71	26425.35	26616.71
29	46410	46430	46200	46430	26584.28	26608.90	26435.34	26439.48
30	46430	46430	46430	46430	26198.45	26256.99	26028.42	26076.89
31	46430	46430	46430	46430	26268.17	26338.03	26050.98	26149.39

日	東京とうもろこし		2019.1月限		日経平均株価			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
2								
3								
4	22000	22180	21950	22180	23073.73	23506.63	23065.20	23506.33
5	22190	22220	22100	22210	23643.00	23730.47	23520.52	23714.53
8								
9	22180	22290	22000	22190	23948.97	23952.61	23789.03	23849.99
10	22200	22270	22190	22230	23832.81	23864.76	23755.45	23788.20
11	22210	22260	22140	22250	23656.39	23734.97	23601.84	23710.43
12	22240	22240	22150	22200	23719.66	23743.05	23588.07	23653.82
15	22190	22230	22040	22080	23827.98	23833.27	23685.02	23714.88
16	22060	22150	22000	22060	23721.17	23962.07	23701.83	23951.81
17	22030	22100	22000	22000	23783.42	23891.63	23739.17	23868.34
18	22020	22370	21980	22320	24078.93	24084.42	23699.47	23763.37
19	22340	22360	22300	22360	23854.11	23872.69	23735.61	23808.06
22	22370	22560	22370	22520	23797.84	23816.33	23697.81	23816.33
23	22510	22630	22250	22430	23924.40	24129.34	23916.02	24124.15
24	22470	22490	22310	22320	24026.43	24072.77	23917.14	23940.78
25	22320	22480	22310	22340	23750.65	23828.40	23649.03	23669.49
26	22370	22410	22250	22370	23757.34	23797.96	23592.28	23631.88
29	22360	22420	22250	22390	23707.14	23787.23	23580.17	23629.34
30	22400	22460	22370	22390	23559.33	23581.98	23233.37	23291.97
31	22370	22510	22370	22460	23205.23	23375.38	23092.85	23098.29

マンスリー予定表(経済・商品2月)

現地日付	日本時間	発表内容
8日(木)	9日	12:00 1月の中国貿易統計
		4:00 2月1日現在の米農務省・穀物需給報告 米連邦政府つなぎ予算期限 北朝鮮・朝鮮人民軍創建日(建軍節)
12日(月)	13日	4:00 1月の米財政収支 トランプ米政権、議会に2019会計年度の予算教書を提出 日本市場休場(建国記念の日振替休日) 石油輸出国機構(OPEC)・石油市場月報
13日(火)		国際エネルギー機関(IEA)・石油市場月報
14日(水)		8:50 17年第4四半期の日本GDP・1次速報
		19:00 17年第4四半期のユーロ圏GDP・改定値
		22:30 1月の米消費者物価指数
		22:30 同コア指数
		22:30 1月の米小売売上高 英ジョンソン・マッセイ社、白金系貴金属需給報告
15日(木)	16日	22:30 1月の米卸売物価指数
		22:30 同コア指数
		22:30 2月のニューヨーク連銀・製造業景況指数
		22:30 2月のフィラデルフィア連銀・製造業景況指数
		23:15 1月の米鉱工業生産指数
		23:15 1月の米設備稼働率
0:00 2月の全米住宅建設業協会(NAHB)住宅建設業者信頼感指数		
16日(金)	17日	22:30 1月の米住宅着工件数
		0:00 2月の米シガン大学消費者信頼感指数・速報値 北朝鮮・光明星節(金正日誕生日)
19日(月)		8:50 1月の日本貿易統計 米国市場休場(ワシントン誕生日)
21日(水)	22日 23日	23:45 2月の米製造業PMI(購買担当者景況指数)・速報値
		0:00 1月の米中古住宅販売件数
		4:00 米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨(1月30~31日分)
22日(木)	23日	0:00 1月の米景気先行指数
23日(金)		19:00 1月のユーロ圏消費者物価指数・確定値(前年比)
26日(月)	27日	0:00 1月の米新築住宅販売件数
27日(火)	28日	22:30 1月の米耐久財受注
		23:00 17年12月のS&P/ケース・シラー米住宅価格指数(前月比)
		23:00 17年12月のS&P/ケース・シラー米住宅価格指数(前年同月比)
		0:00 2月の米消費者信頼感指数
28日(水)	1日	10:00 2月の中国PMI(製造業購買担当者景況指数)
		19:00 2月のユーロ圏消費者物価指数・速報値(前年比)
		22:30 17年第4四半期の米国内総生産(GDP)・改定値
		23:45 2月のシカゴ購買部協会景況指数
		0:00 パウエル新米FRB議長・議会証言(下院、経済・金融情勢について)

(注) 上記の予定は予告なく変更される事があります。

重要事項のご説明

※本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性・信頼性を保証するものではありません。また、本資料は情報提供を目的としており、相場見通し等の確実性を保証するものではありません。なお、本レポートに記載されている内容の著作権は、原則として、当社およびその他情報提供者に帰属します。著作権法により、当社およびその他情報提供者に無断で転用、複製、再配信、ウェブサイトへ掲載等することはできません。ご利用になりたい場合は、後述のお問い合わせ先にご連絡ください。

※商品先物取引は元本及び利益が保証されるものでなく、取引額が当社必要証拠金に比べて最高でおよそ40倍と大きいため、損失の額がお預り証拠金の額を上回るリスクもあります。又、相場変動や日数の経過によって追加預託が必要になる場合もあります。お取引を始める前に契約締結前交付書面をよくお読みになり、取引内容を十分ご理解の上、ご自身の判断と責任によりお取引下さい。

※ 当社必要証拠金の額は1枚当たり最高で**188,000**円、手数料は1枚当たり最高で**24,840**円(税込)となりますが、相場の変動によって変更される場合もあります。詳しくはその都度お問い合わせ下さい。
(平成30年2月1日現在)

※ 当社お客様相談窓口

(東京本社) **TEL0120-770-266**

※ 日本商品先物取引協会相談センター **TEL03-3664-6243**

※当社の企業情報は本・支店及びHP、並びに日本商品先物取引協会のHPでご覧頂けます

当社HPアドレス <http://www.dai-ichi.co.jp/>

日本商品先物取引協会 <http://www.nisshokyo.or.jp/>

※ 当資料記載の情報内容およびお取引に関するお問い合わせは、お取引店(担当者)またはフューチャーズ24 (TEL**03-3462-8056**) までご一報ください。土・日・祝を除く毎日24時間体制でお応えしております。

※ 他の当社資料をお求めの場合は、

フリーダイヤル **TEL0120-431-561**

または、HPの資料請求フォーム <http://www.dai-ichi.co.jp/present/>
からお申込みください。

加入協会／日本商品先物取引協会
商品先物取引業者

第一商品株式会社

本社所在地 150-0045 東京都渋谷区神泉町9-1

代表電話番号 **TEL03-3462-8011**